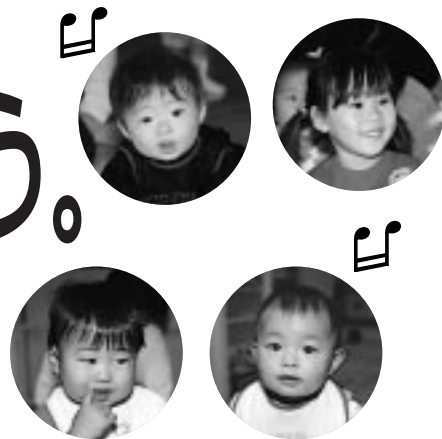


# 上手に利用しちゃおう。



仕事と子育ての両立もたいへんだし、家の中でずっと子どもと一緒にというのもまたたいへん。

子育ての事情は人それぞれですが、市では自分に合ったスタイルでサービスを利用してもらおうと様々な育児支援を行っています。

九月下旬から三週間ほど、ファミリー・サポート・センターを利用した松田優子さん(27歳・泉)。仕事が急になくなったので、聖園ベビー保育園に預けている直大くん(1歳4か月)の定時のお迎えが難しくなりました。そこで、センターを通して協力会員の永山静さん(50歳・保戸野)に、保育園へのお迎えと松田さんが帰宅するまでの保育をお願いしました。

「保育園の保育時間は午後六時三十分まで。仕事の忙しい時期も決まっていたので、この機会に利用してみようと思いました。近くに頼れる人も少ないので、万が一に備えて四月からセンターの会員に登録していましたから」と松田さん。

永山さんのお宅と直大くんの保育園とは歩いて五分ほどの距離。永山さん

は午後五時に保育園に迎えに行き、お母さんかお父さんが迎えに来る七時ごろまで永山さん宅で直大くと遊んで過ごします。

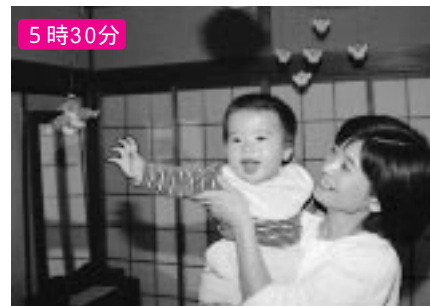
「他人に預ける訳ですから、お母さんはとても心配しているはず。預かっている間の様子はメモに残しています。子どもを大切に思う気持ちは私も経験していることですし…」と永山さん。二人の間を歩き来する連絡帳が大活躍です。「大人同士の信頼関係が築ければ子どもも安心して待っていてくれるようです。事前打ち合わせでお迎えの道を一緒に歩いたりしたのが良かったのかな。でも、やっぱり永山さんの人柄かしら」。

困ったときは、またお願いしたいと松田さん。保育園とファミリー・サポート・センターを上手に利用して、お母さんも直大くんもニコニコです。

## ファミリー・サポート・センター 安心できて頼りになるんです。



午後5時  
永山さん(右)が迎えにいくと大喜びの直大くん。保育士さんからのお話はお母さんへの大切な連絡事項です。



5時30分  
永山さんの自宅でおやつを食べたり、遊んだり。保育士経験のある永山さんにすっかりなついた様子。



7時  
お母さんが迎えに来ました。いっぱい遊んでご機嫌の直大くんに、松田さんも永山さんにもニコニコです。

### ファミリー・サポート・センター 会員登録受付中

☎(866)2086

ファミリー・サポート・センターとは、お子さんを預けたい人(利用会員)と預かってくれる人(協力会員)がカップルになって子育てをしていく制度。9月末現在で協力会員98人、利用会員335人のかたが登録しています。

7月からスタートし、すでに370件ほどの利用がありました。保育所や幼稚園へのお迎えが最も多く、保護者の急な仕事や病気のための一時預かりのほか、PTAへの出席などでもご利用いただいています。利用料金は1時間500円です。